

開業者に占める女性比率の上昇と開業の小規模化が継続

～「2025年度新規開業実態調査」アンケート結果の概要～

日本政策金融公庫総合研究所は、新規開業企業の実態を把握するために、1991年度から毎年「新規開業実態調査」を実施しています。2025年度調査の結果について、時系列のデータを用いて開業者の属性や開業費用などの変化をみるとともに、開業者の特徴について分析しました。主な調査結果と調査の要領は以下のとおりです。

<主な調査結果>

1 女性の割合は過去最高を更新(本文 3 ページ)

開業者に占める女性の割合は 25.7%と、調査開始以来の最高水準を 4 年連続で更新した(図-2)。

2 開業時の従業者数は減少傾向(本文 8 ページ)

開業時の平均従業者数は 2.8 人と、3 年連続で 3 人を下回った(図-11)。

3 開業費用は少額化の傾向(本文 9 ページ)

開業費用の平均値は 975 万円で、長期的にみて少額化の傾向にある(図-13)。

4 7 割以上が開業に「満足」(本文 14 ページ)

開業の総合的な満足度が「かなり満足」であった割合は 31.8%、「やや満足」は 43.1%と、74.8%が開業に「満足」している(図-25)。項目別では仕事のやりがい(自分の能力の発揮)で「満足」の割合が 84.4%と特に高い。

*本調査の詳細につきましては、[こちら](#)をご覧ください

<調査の要領>・調査時点:2025 年 8 月

・調査対象:融資時点で開業後 1 年以内の企業 8,517 社

・調査方法:調査票の送付・回収ともに郵送、アンケートは無記名

・回答数:2,165 社(回収率 25.4%)

<お問い合わせ先>

日本政策金融公庫 総合研究所 小企業研究第一グループ TEL 03-3270-1687(担当:原澤、星田)

〒100-0004 東京都千代田区大手町 1-9-4 大手町フィナンシャルシティ ノースタワー